

それぞれの愛のカタチー弥生ー

クアトロ

## ■作品概要

△サークル△

癒し庵もち猫（シナリオ／効果音／音楽編集：クアトロ）

△ジャンル△年齢指定△

バイノーラル音声作品△全年齢

△作品ボリューム△

90m △単語文字数11,218文字

△舞△

現代△聴せ手の職場（カツエ）△弥生の部屋

## ■登場人物

△ヒロイン△

名前 △弥生（ヤコイ）△22歳

人物 △聴せ手の2歳年上で彼女△アルバイト先の先輩

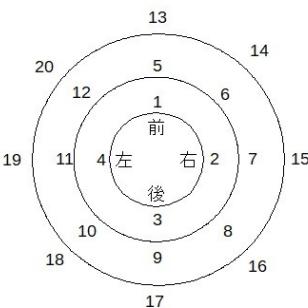
おつとり天然△スタイル抜群△口元のホクロが妙にヒロコ  
じつも△口元がわふわして△お酒を飲むと泣せ上がりになれる

趣味△特技△料理△酒蔵巡り△コーヒーを飲む事

△聴せ手△

彼氏 △大学生（20歳）△アルバイト先の新人△真面目な性格

△単語位置の指定図△



図はマイクとの距離を示しています  
1~4は30cm  
5~12は50cm  
13~20は1mを想定しています  
距離が取れない場合、  
この内の音量調整等で対応します

1：弥生とバイト終わりに（聴き手のバイト先／夜）

（キーボードを打つ音）

（位置17から7へ移動しながら／有声音／小声）

今日もお疲れさまでしたー。

（位置7／有声音／小声）

閉店まで手伝つてもうらちやつて、ありがとうございました♪  
あ、はいこれ、コーヒーです。

（コーヒーを置く音）

マスターがサービスだつて、淹れてくれましたー。  
それにしても、君も大変な時にこのお店に来ちゃいましたね…。  
ううん、来させた、っていうのが正しいですね。  
私（わたし）の我儘で、バイト先も一緒にいひつて…。  
で、こうなつてしまつて…。

えー、だつて、彼氏ともつと一緒に居たいつて思つるのは、普通じゃないですか？

彼氏とバイト先が一緒、だなんて素敵だと思いません？

君が働く姿を見られる…、それだけで嬉しくんじす♪

でもその矢先にまさか、このカフェがテレビで紹介される…、だなんて。

SNSや□□□でもすひーる話題になつちやつて…。

もーそれからとこつもの、毎日たーいへんつー！

そんな時だからー、私の我儘を聞いてくれた君は、お店の救世主…、なんですよ♪  
でもこんな事になるとは思つてませんでしたから、責任を感じるんですけど…。  
「めんなさいね…」

えー、楽しそ…。

そり？

君がそり言つてくれるとしたら、私も少し救われる気がしますー♪

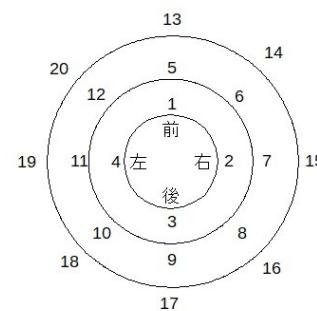
それにしても、君はカフェ店員として優秀ですね…！

えー、だつて教えた事は直ぐにこなしちゃいますし、

動きも何だか、私よりテキパキしていますし…。

私つたら、どうこう訳か些細なミスが多いんですね…。

今日もお皿を割つちやいました…、それにオーダーも間違つちやいました…。



そーじが可愛い…?

もー、照れる事言わないでトセー。

えへへ、でも嬉しいです。

あ、でも、お仕事中のミスは、めりですよ~。

つて、君に会える立場じゃないですね…、あははっ…。

といふで、どうしてあんなにも、お仕事を覚えたのが早いんですか?

あれが普通…?

えー、だつて私、お客様に「注文を届けられたよ」となるまで、「

一週間はかかりましたよ~。

それを呑つたら、一皿で覚えたりやうんでもん…。

そーには何か秘密が隠されてる感じないか…、そう思つたんですねけど…。

へー…、一度聞いたら覚えられる…、そういうものなんですね…。

私つたら情けないな…。

だつて…、後からこのカツヒに来た君に、教えをひき、だなんて…。

私にも年上彼女としてのプライドがありまや…。

あっ、じゃあ勝負しましよう…。

今までに割つたお皿の数…、何枚ですか?

へ…?ゼロ…?

うつそだー。

一枚くらう割つたでしょー?

え…、本当にゼロなんですか…?

あ…、もうですか…。

ふーん…。

よしひ、ーの勝負はナシにしましょー…。

えーと、じゃあ…、何ひとつ勝負しましょー…。

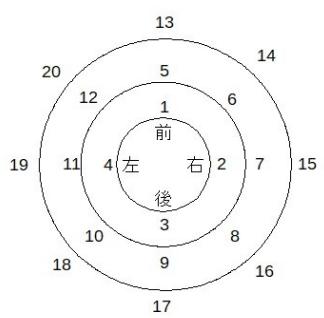
へ…?私ですか…?

それ…、聞いてます…?

うーん…、初日に十枚割つたのは覚えてるんですけど…、それ以降は數えてないです…。

だつてー、お皿が勝手に手から滑り落ちるんですよー。

本当にすー…。



(帳のマーカーを落として贈話をすむよ(元))

「れは私のや想などじゆかゞ…、多分あるお目だけせせせますね…。  
わ…、想がのこお目たてたちなどですも…。

とあるカツヒ…、夜な夜なお目たちの会話が聞こえていて贈にもなつてゐるのです。

(レ)レモド帳のマーカーを落として贈話をすむよ(元)

へ…?

あ、はい。

嘘です…、今作りました…。

ひーん…、レれじやあ年上としの立場がなこぢやー…。  
わ…、何をすれば君に勝てぬぞこよつか…。

あつ、そつだ。

(弥生が移動する音)

(位置4／有声音／かなり小声)

「れだつたら、負けまぢへよ…。

(耳ふーー回) フー…。

ふうひ、やつぱつ。

和は「れに」と一つとも弱こつて、お姉さん知つてゐるかひら。

だから、せひ…、隆参してトヤコ…?

(耳ふーー回) フー…、フー…。

あれ?

今日は中々強氣ですね♪

こつむじつたが、ミクシとし、やめくべだーひ|耳ひじやなこぢですか…。

ふね…。

(位置4から2へ移動しながら／有声音／かなり小声)

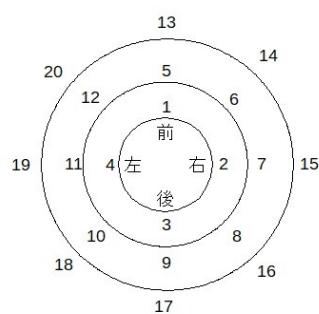
それじやあ!ひけせ…。

(耳ふーー回) フー…。

あつ、肩が少しうきあしたね♪

やーつぱつ、我慢してこねんじやなこですか♪

(耳ふー短ぐー回) フーフリ…。



わ~い…、これでも降参しませんか…。

かくなる上せ…、お耳をペロペロかいやこがわ~一。

だ~ごじゅうばらぢゅ~

今マスターは裏の倉庫で、コーナー豆の状態を見に行つておかひづ

く…? 参つた…?

え~、何でですか~?

今からペロペロつめと呟つてたんですよ…?

(ヤクシーニ)

君に気持ちよくなつて欲しかったんですね…。

ね…?

ここでしょ…~

(イリ)まどヤクシーニ(元)

(位置2／無聲音／囁き)

なーんかやつて~

(位置2／有聲音／かなり小声)

ふう~

流石にリリードせつねやべよ~

あ、もしかして、少し期待してもつた?

あはは~

「あんなヤツ~、冗談ですか~

(位置7／有聲音／小声)

ちー、もう1~2分間ですし、上がりましょうつか?

あ、今夜うちに来ます~

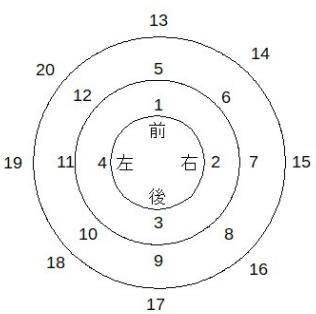
遠慮しなくてこころんでもよ~

言つたじやな~ですか~

君は私の恋人でしょ~

だつたら、もつと甘えてくれてもいいんですよ~

ヤ、マスターに挨拶したら、帰りましょ~



## 2：弥生の部屋で（弥生の部屋／夜）

（位置5／有声音／小声）

心……。

いこお湯でしたー♪

今日も疲れましたねー。

（位置5／有声音／小声）

ではでは、早速お風呂上りのお酒を…。

と云いたい所ですけど、君が頑なに止（と）めたので、今日はノンアルです♪  
はい、君の分♪

じゃあ頂きました♪

（缶を開ける音）

（飲む演技）んっ…、んっ…、んっ…。

ふう…、これはこれでお酒の味がしてここと思つんですけど、  
やつぱりアルコールが入つてないっていうのが物足りないです。  
ねえ、どうしてあんなに、お酒を買わせたくなかつたんですか？  
え？.

泣き上戻…？

誰がですか…？

（考え込むように）私…。

またまたー、そんな事ある訳ないじゃないですかー♪

こつ見えて私、おしゃけには強いんですつー！

そうですよ～♪

だからノンアルのこれは、味の付いた水です。

あー、興味ないつて顔してますね…。

本当れすよ～♪

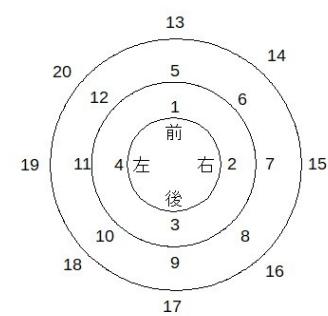
まあでも、これは一本目…、あれ…、一本目…、んん？

…三本も空けたんれすからー♪

えへへー、どうれすかー？

私、強いんれすよー♪

で、信じてぐれましだか？



な  
ん  
で  
つ  
！

信じてくわなきやせれす——

卷之三

三國志

信じてくれるまで 寝かさないんですがん

どうしても信じられないか……？

二三〇。

彼女はある

(1) 「席で迷惑」にならないから

(二)からシリアルスな感じで

卷之六

しゃあもんしあれ

卷之三

^

信じてくれるんれすか…?

ヤ一と分かてくれかんれ

ノノ二

ねえ君……。

何だか暑くないれすか……？

お風呂上かりたがふれじよ。」が

卷之三

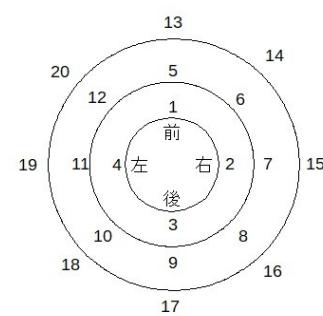
(弥生が服を脱ぐ音)

んあ…?

どうしたんれすか、そんな顔を背けて……？

6

目のやり場に困るんれすね♪



えへへ…、」れ、「の前買つたんれすよー。」

(位置5で左方にゆいゆいゆう動きながらセクシーに／＼有声音／小声)  
どうれすか?

淡い桜色のパンクドセクシーなしぃ。

上トセツトなれすけじ、上せせせ、ツコルがたくヤニセコトヒズれす。

ツコツコーム。

それにー…、トハ…。

見えますか?

サイドが紐になつてゐるんれすよー。

紐つて事はー…、「れを引つ張ぬヒー…。

(位置5／有声音／小声)

あははひ♪

冗談れすつてー。

もしかして、本氣にしまつた?

ふーん、ルーラーの顔には、顔が真つ赤れすよ♪

(「」だけセクシーヒ) それともー…、私が「こんな姿になつても、興奮しませんか…?」

ふらひ♪

君はすぐ顔に出るんれすかひ♪

分かりやすいれすねー。

(位置5から4へ移動しながら／＼有声音／小声)

じゃーあー…、もひと近くで見せてあげます。

(位置4でセクシーに／＼有声音／かなり小声／ゆいゆう)

ほひ…、もつと私を…見てトヤコ…。

これ、一生懸命選んだんれすよ…?。

君はどうこうのが好きかなーつて…。

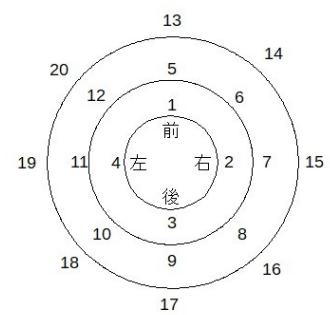
そつ…、君に見せるために選んだんれす…。

ほーひ…。

ふらひ♪

照れてる君…可愛いれすね♪

ねうれすよ~。



だつて普段は、しつかり者で、ミスもしない…。  
私から見たら「元壁な人つて感じなんれすもん…。

そんな君が…、私の下着姿を見て、こんなにも動搖してくるんれす…。  
そんなの可愛いに決まつてます…。

ねえ…、私を…、どうしたい…?…?

私だつて年上なんれすから…、君が望むなり、聞いてあげたいんれす…。  
困つた、つて顔れすね…。

じゃあいつこう時は、私がリードしなこと…。  
ほう…、リリに来てドセコ…。

そつ…、私の胸に…。  
ギューッ…。

(位置1／有聲音／かなり小声／ゆつぐ)

(弥生の心音)

どつれすかー?

つて、君一、そんに鼻をひくわくせー…、匂い…、氣になります?

いい匂い…、れすか?

れつれすか…。

お風呂に入った後でよかつたですね♪

あらあら…、安心した顔も、可愛いれすね…♪  
何だか、子供をあやしてこぬよつれす…。

ふふふ♪

可愛いよなよな、ここそここそこもこよつねー♪

(頭を撫でる声)

ほーう…、ここよ…、ここよ…。

ここよ…、ここよ…。

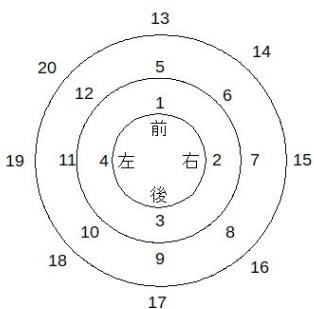
よーし…、よーし…。

よーし…、よーし…。

そつゆれば、君の頭をいつこして撫でるの、初めてれすね…。

どつれすか…?

ふふふ♪



じゃあ続けますね♪

ニニナ…、ニニナ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、寝やつても。

ううう♪

まめで、ねつわな赤ぢやんれすね♪

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ナーフ…、ナーフ…。

ニニナ…、ニニナ…。

ナーフ…、ナーフ…。

卷之二

九—二……、九—三……。

• 1

卷之三

九—二……、九—三……。

• 1

卷之三

九—二……、九—三……。

• 1

卷之三

九—二……、九—三……。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之二

九—三

卷之三

子、子。

### 3：弥生と迎えた朝（弥生の部屋／朝）

(位置19／有聲音)

あ、田が覚めましたか。

おはようハヤシます。

(位置19から5に移動しながら／有聲音)

ああ、昨夜(ヤベヤ)はあのまま眠りこぼしたね。

(位置5／有聲音／小声)

つて、ふらつか

寝ぐせ、立つてますよ♪

ほひ、顔を洗つて来て下さる?

タオルは新しいのを置いてあります。

あつ、それど、歯づきは毛先が広がり始めていたので、新しく買ってあります。

そうです、青い方。

ピンクのは私のですから、間違わないで下さいね?  
はーい、行つていらしゃる。

(布団から出る音)

(足音)

(歯磨きの音)

(うがいの音)

(顔を洗う音)

(足音)

(位置19から5へ移動しながら／有聲音／小声)

あつ、戻つてやがつたね。

(位置5／有聲音／小声)

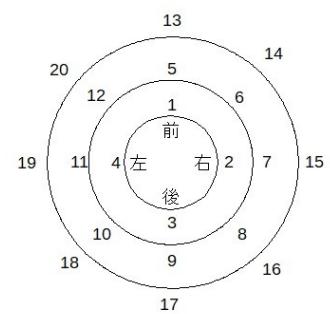
わあ、朝ご飯にしあしょい。

今朝は君の好きなあまーこ煎餅や玉子と、ほつれん草のお浸しに、お味噌汁ですね  
はい、「餃じゅわ」。

はい、じゃあ手を合わせて下さる。

頂きます。

(食べる演技) はむつ…、はむ…、はむ…。



うん、我ながらよく出来てこまかー。

じつですか？

結構伝信あるんですけど…。

本当ですか？

よかつた…。

今日のお味噌汁、いつもと違つと感つません？

ちつーお出汁が違つてます…。

マスターの奥さん、料理上手で、美味しいお出汁の取り方を教わったんですよー。

これ食べてもうれば、君もイチ口口だらけ…って奥さんが仰つていました♪

口口と来ましたか？

えへへー…、やつましたー。

そつぱん…、昨夜（やく夜）の記憶が曖昧なんですね…。

ええ…、お風呂を上がった所までは、ハッキリ覚えてこます…。

その後の記憶が…。

どうやつてベッドに入つたのかも、覚えてないんですね…。  
君は何か覚えてこますか…？

ん？

何で黙つちゃうんですか…？

もしかして…、私に何かしました…？

ふむ…、そうですか…。

それじゃあ話してくれてもいいじゃないですかー。

気になりますー。

ねーーー、教えて下せよー。

へ…？

フリルと紐の下着…？

な、何で今服の下に着てこむ下着を貰つられたんですか？

も、もしかして、君つてエスパーだったとか？

あ、それとも、寝ている間に覗いたんですか？

ふむ…、違いますか…。

え？

確かに君に見せたくて買った下着ですので、見られても問題はないんですが…。その、心の準備、というものがあります…。

へ…?

酔つて…、私から脱いだ…?

え、でも昨夜（たくや）飲んだのはノンアルでしたよね…。  
えーと…、頭がこんがらかってきました…。

先ず、お酒に強い私が酔つ、というのが不思議ですし、

そもそもノンアルで酔つはずがありません…。

むむむー…。

謎ですね…。

ん?

何をキヨトントした顔をしているんですか?

まあいいでしょ♪。

君はとーつても純粹ですから、変な事はしていないつていうのは分かりました。  
でも、せっかく買った下着を見られたのは不本意です…。  
ですから、今度はもつと君が喜びそうなの、見てもいいよサからね、  
いいんですねー。

ふふふ♪

君がどうこう反応するのか楽しみですね♪  
慌ててももう遅いですよ♪

オトナの女、つてのを見せ付けちゃうんですかう♪

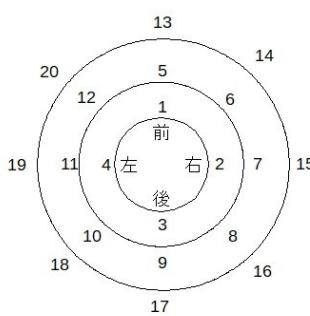
ふう…、「駆走様でしたー。

あ、食器、丘付かわやいよすから、君はまつたらしてていいですよ♪

(食器を重ねる音)

(弥生の足音)

(食器を置く音)



#### 4：弥生と朝食後のまつたりタイム（弥生の部屋／朝）

（弥生の足音）

（位置2／有聲音／かなり小声）

よひひとふ。

今日のバイトは一人とも遅番ですから、ゆつべつでありますね♪  
といつ事で……、まつたり……。

（弥生が抱き着く音）

えへへ…、 昨夜（やく夜）はよく覚えてないですか？、 今、ソレ…おやじまーす♪  
君に抱き着いてると安心します…。

それに…、君の匂い…。

（匂いを嗅ぐ演技） くんくん…、 くんくん…。

わー、やつぱり落ち着く匂いですねー♪

もう一回…。

（匂いを嗅ぐ演技） くんくん…、 くんくん…。

えー、いいじゃないですかー。

好きな人の匂いって、嗅ぎたくなっちゃうんで…

あ、私の匂いも嗅いでみます？

遠慮しなくていいじゃないですかー。

ほら、嗅いでもいいですよ…？

あ、それとも、君は「うちの方がいいですか？」

チラつ♪

あー、田を逸らしたら駄目ですー。

ほら、君のために買った下着…、見てトセ…。

私、また胸が大きくなつたっぽいんですよね。

せつかく可愛い下着を買っても、サイズが合わなくなるのは残念ですー。

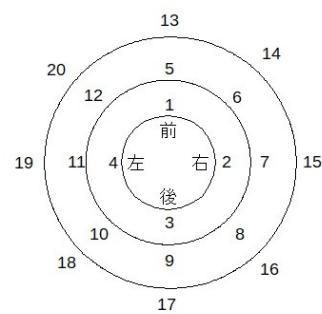
だ・か・ら…、これを見られるのも今の内だけかもしれませんよ♪

ほらほら、見なくていいんですか？

んもー、恥ずかしがり屋ですねー。

（ここからセクシーに）

それとも…、私の下着には、興味ないですか…？



ねえ…、もつと正面になつてトヤフ…?

今ない…、可愛こト着と…、ふわふわの谷間が…、見放題ですよ…。  
見るだけじや物足りなこなう…、触つてもこじるぢすからね…?  
ほり…、せーひ…。

### (イ) Jモードセクシーラン

ふうひふ

冗談じすふ

相変わらず、君はシャイなんですねふ

君のふうこつ真面目な所、好きですよふ

まあだからJモードからかいたくなれ、つてこののもあつますかじふ  
あー、「おんなせい」。

真面目な君には刺激が強すぎましたか?

じゃあ、からかったお詫びと囁ひには何ですか?、耳かきしてあげましょつか?  
ええ、最近していなかつたでしょつか?

えー、こうじやなつですかー。

やーでーすー。

つて事でー、Jモード

耳く耳くつー。

(膝を叩く音)

(膝に寝転ぶ音)

### (位置2／有聲音／かなり小声／ゆつぐつ)

えへへ…、かよつと強引でしたか…?、

「つづく」Jモード掛上とつて、君をつーでつーあがなことふ  
れつじよへ。

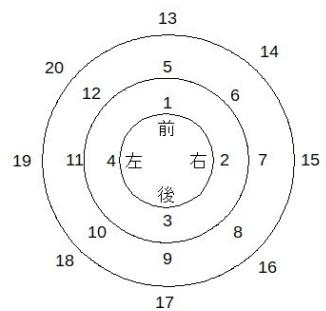
私だけいやぬ時はやぬそじよから

見てて下せよー。

### (弥生が耳かき棒を探す音)

あれ?

耳かき棒は…、ん…、どうしたつた…?、



あ、ありましたー♪  
じつですか？

準備万端でしょ♪  
え？

(とぼけた様に)

何の事ですか…?

よく分かりませんねー。

(「」までとぼけた様に)

(ティッシュを取る音)

ではではー、始めてこやまおす♪

んー…、久しぶりにやるので、結構汚れていますねー…。  
では手前の方から…、やつていきますねー…。

カリ…、カリ…。

カリ…、カリ…。

ふふつ♪

早速とろけた顔をしてこまおすね♪

可愛じ♪

優しくやつてこやまおすたゞ、もし痛かったら下せうねー…。

カリ…、カリ…。

(呼吸音) すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…、すー…、ふー…。

カリ…、カリ…うと…。

うーん…、あつ、取れましたー♪

(耳ふー一回) ふー…。

毎回思つておさかど、耳かき虫つて無理になつたりやこまおすよね♪

集中してゆかひつてこなのもありますたゞ、

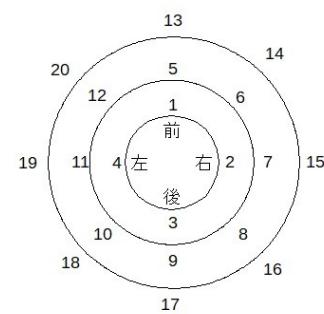
気持つよたれつてこなのに、話しかけたら邪魔かなーつて思つたりやつてですー。

君はどうち派ですか？

そつですか。

では「」のおま、静かにやつてこやまおすね♪

(しおふく自然な呼吸音／一部口調／呼吸音は腹にゆつぐ)



すーー、ふーー、すーー、ふーー、んーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。  
カリー、カリー、カリーと…。

(耳ふー一回) ふーー。

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。  
すーー、ふーー、んーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。  
すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

(二)まで呼吸音)

「のああ、奥をやつてこやますね♪

慎重」…。

(しほり／また自然な呼吸音／一部口詞／呼吸音は先程と同じくごめんなさい)

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、んーー、すーー、ふーー。

カリー、カリ…。

(耳ふー一回) ふーー。

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

んーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

カリー、カリ…。

(耳ふー一回) ふーー。

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

すーー、ふーー、んーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

(二)まで呼吸音)

んーー、田立つたー、汚れはー、もつありませんね…。

では梵天で、ふわふわしていきまわね♪

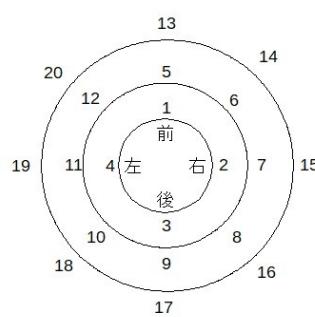
ふわふわー…。

あ、「ーーうつ、ぐすぐぐたくても動いたら危ないですよ?」

はい、ジッとしていて下さる♪

(耳ふー一回) ふーー、ふーー。

ふーわー、ふーわー…。



(耳ふー長め一回) ふーーー。

最後にもう一回…。

ふわーーー、ふわーーー。

(耳ふー一回) ふーーー。

うん、綺麗になりました♪

では次、反対をしましょうね♪  
ゴロンとしてもうれますか?

(寝返りの音)

(位置4／有聲音／かなり小声)

はい…、じつかもやつてこきますね♪  
えーっと…、ふむふむ…。

こからもやり甲斐がありますのです♪  
ではそーっと…。

カリ…、カリ…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふーーー。

(しづかく自然な呼吸音／一部台詞／呼吸音は先程と同じくじゅつじゅつ)

すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、んーーー、すーーー、ふーーー。  
すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
すーーー、ふーーー、んーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
カリ…、カリ…。

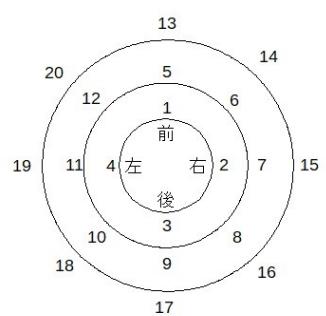
(耳ふー一回) ふーーー。

んーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、んーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
すーーー、ふーーー、んーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。  
カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふーーー。

すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー、すーーー、ふーーー。

(口)まく呼吸音)



そういえば、人のお耳の穴って…、左右で形が違うんですね。

ええ、こちらのお耳は、少し複雑な形をしてしまいます…。

そのせいか、奥の方がよく見えないんですね…。

ですので、奥の方をやつて「前」、よ一へ見て下さるかな?

えーと…。

どうしたんですか?

胸…?

あ…、当たつて…。

ふふつ♪

そんなに慌てた顔をしてー。

私は別に構いませんよ?

だって君の彼女なんですから、これでどうして事ありませんか?

ですからー…、えいつ♪

もつと押しつけたりやえー♪

うづづづー♪

あははつ♪

「めんなさい、ちよつとやり過ぎましたね♪

えーと…、ねつねつ、耳の奥を見るんでした。

ふむふむ…、成程…。

汚れの位置は把握出来ましたので、続きをしていきますね?

(**じばいく自然な呼吸音／一部口詞／呼吸音は先程と回りこむつづく**)

す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

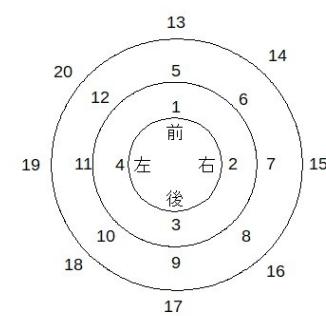
す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、

す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、

カリ…、カリ…。

(耳ふー一回) ふー…。

ん…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、ふ…、す…、



すーー、ふーー、すーー、ふーー、んーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。  
すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。  
すーー、ふーー、んーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。  
すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー、すーー、ふーー。

### (1) Jまで呼吸音)

よしひ、Jいつも見えてこの汚れは取れました。

ではでは、梵天ですね♪

ふわーー、ふわーー。

(耳ふーー回) ふーー、ふーー。

ふわふわーー。

(耳ふーー短めー回) ふーー、ふーー。

ふーー、ふーー。

(耳ふーー回) ふーー。

つとー。

はこ、お終いですか

といひいで船ーー。

私の胸の感触はどうでした?

柔らかくて、温かかったでしょ?

ふふつ♪

恥ずかしがらなくて、正面に囁いていいんですよ?

え?

昨夜経験した…?

ん…。

やつぱり寝てころの間に、私に何しましたか…?

むむ…、N(ノ)で黙るつて事は、やつぱり何かしたんでしょー?

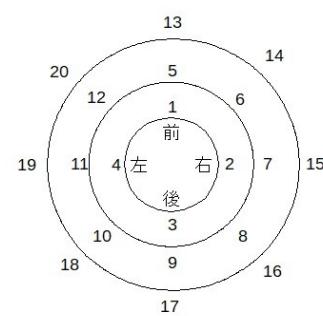
ふむ…、黙秘しますか…。

そういう時は…、J(ジ)です。

えいっー。

### (胸と膝に挟まれる音)

胸と膝に挟まれた今、身動きが取れないでしょ?



「ひつひつー♪

つて…、君じといへば、褒美ですね…、これ…。

(弥生が離れる音)

あー、じゃあ、ひつひつめしょひふ。

胸を直接押し付けたりこいつのせどりですか~。

(弥生が服を脱ぐ音)

ほー…、君の彼女の胸…ですよ…。

チラつ♪

もーひと見たいですか?

チラつ♪

あははひふ

冗談ですひふ

あいら…、参つたつて顔をしてしますね…。

ひよつとやり過ぎやいました♪

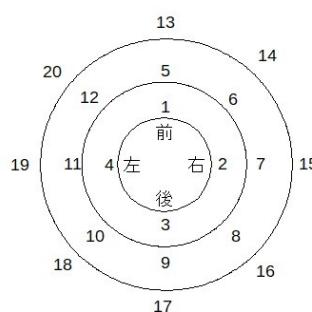
はーい、じゃあ耳かきはお終いです。

ええ、起ち上がつてセコフ♪

(起き上がる音)

(位置5／有聲音／小声)

久しぶりに耳かきをして、君の幸せそうな顔を見ていたら、私も癒されましたー♪  
はーい、どうしたしましてー♪



5：弥生とコーヒータイム（弥生の部屋／壁前）

(位置5で14の方を向きながら／有聲音／小声)

えーと…、まだこんな時間ですか…。

バイトまでは結構時間がありますね…。

(位置5／有聲音／小声)

お食い飯にはまだ早いですし、どうしましようか…?

うーん…。

あー!

そうだつー。

コーヒータイムにしませんか？

この前マスターから、いい豆が手に入ったよって、少し頂いたんですね。  
ですから、それを頂きましたよー。

ね～え～しましょ～。

では、道具を色々と持つてきまーすから、少し待つてこいでくださいね。

(弥生が立ち去る音)

(位置14／有聲音)  
えーっと、コーヒー豆と…、コーヒー//ルビ…、ザリッパー…、それに「フィルター」と。

お湯はまだ残つてましたよね…。

うん、大丈夫♪

あとはマグカップを…つと。

よじつ、これで大丈夫ですね♪

(弥生が戻つてくる音)

(コーヒー一式を置く音)

(位置5／有聲音／小声)

ふつ…、これだけ持つてくると、結構重いですね…。

え?

ああ、いいんです。

君はお客様なんですか～♪

そうです。

お客様に手伝つてもうつだなんて、カフエ弥生の名誉に關わりますもんつ。  
え?

ああ、ええと、今はカフエ弥生、限定オープンなのですつー。

君だけのお店、ですよ♪

と云つても、コーヒーを淹れるのは、マスターには敵こませんけど…、あはは…。  
では早速ですけど、コーヒーを入れてこましょ～。

(コーヒーの袋を開封する音)

(匂いを嗅ぐ) へそへそ…。

わーーー。

「これ、あひじゅここ香りですか。」

「はい、君も匂いでみてトセー。」

### (袋の音)

どうです…? ね?

芳醇でこゝ香りでしょ? う。

これ、コナコーヒーなんですよ。・

それ、ハワイの、コナ地区で栽培されてこる「コナコーヒー豆」ですか。

コナコーヒーって高級で、しかも「これ、最上級のものなんですね」。 それもあって、マスターから頂いたのは、御覽の通り少量ですが、

これはそれで、特別感があつてここと思つんですね。

今日はもっと特別感を出すために、ストレート…、

つまり 100 パーセンテージの豆だけを使って淹れますね。

ああ、いいんです。

君との時間はこつとも特別であつて欲しき…、れつぱりしてますか? う。 ですから、ジーンと奮発して味わつたやうもしますが、 では早速豆を挽いてこせらます。

### (豆をミルに入れる音)

一人分ですか? …、「これくじこでしようか…。

香りを最大限楽しむために、中挽きくらいに挽いてこせらます。

### (ミルで豆を挽く音)

うーんっ♪

豆が砕けてきたのど、更に香りが強くなつてきましたね♪

### (挽く音)

田を閉じて…想像してみてトセー…。

あれで一面広がるコーヒーの花が、咲き乱れている感じませんか…? う。

コーヒーの花って、咲いて一日で散つてしまふんですよ。

ですから、雪が解けてしまった様だつて言われてるんですけど。

特に、常夏のハワイで咲き乱れるコーヒーの花は、

その見た田から、「ナスホーと呼ばれていますみたいですね。

(「お湯を注ぐ」)

「お湯を注ぐかなー~。

よつて、

「お湯のこどこどしちゃうか、

じゃー、挽いた豆を取つ出つて…。

(「ノルを開けた皿）

わあー、すいーとこーと翻りですー…。

「ホールの喬つつしれ、コワックス効果があるヒト異温帯だしてある。あとねど、謳の衝わを、よくある効果もあるヒトアド。

アーメやなんかで、寝起ヤリ、これから頑張ル、かよひるん懸…、向い盐にホールがよく飲まれてこね、ヒトコロのも納得ですー。

でも、いだをー、早速ドコシフリしてこわもつちー。

「コシペー」「フィルターをセシテー…。

「おじりと半間なんですけど、君のフィルター」「お湯を注げ」と。

(「お湯を注ぐ皿）

「おややかの事によひて、フィルターの臭いを塗りつたつ、温めの効果があるヒトアヒのひと手間で、ホールの味が澄んだ味にならぐですよ。

もつた、「お湯は、豆類で…。

(「お湯を捨てる皿）

次にー…、「お先程挽いたホール豆を入れて…。

少しお表面を整へます…。

「こんな感じでしちょつか。

よひやべー」「お湯を注ぐんじなー、これがなー、一瞬に注いでせこなーなーじんです。お湯は少量…、豆全体が濡れる様に注こー…。

「おじりまたひと手間です。

ほこだお湯が全体に行き渡るよーに、軽く照らしておこうとです。

「つかの事によひて、味がガハコヒ変わらんですよ。

もつたら…、30秒程蒸らしちゃ…。

せ、聞こえますか~。

(「お湯を注ぐ皿）

パチパチ…、ショワショワつて音がしますよね?

豆にお湯が浸透して、炭酸ガスなどが出て行く音なんですね。

「つしないとガスが邪魔をして、上手くドリップできないので、

蒸らしあと一つでも重要なんですよ。

蒸らしの長さは好みに寄るんですけど、今日は「れくらじーおせましお」。

人に寄っては、五分以上蒸らす人もいるんですねつー。

私は…、そつですね…、割と待つのが苦手なので、長くても一分くらいですねー。

えー、だつてー。

コーヒー豆の匂いを嗅いでいるし、早く飲みたい一つになりませんかでしょー?

ですからー、「れくらじー」といんですつー。

では本番のお湯を注いでいきますねつー。

ドリッパー」満たすお湯が「一定」になる様に…。

### (しお湯を注ぐ面)

それでいて溢れない様に少量ずつ…。

これって結構難しくて…、上手く注がないと、豆全体から抽出されないんですねー。

バイトでまだ慣れない頃は、マスターにみっちり教えてもらいましたー。

マスターつたら酷いんです…。

腰の角度が甘いーとか、注ぎ過ぎだーとか、とにかく「だわりが強くて…。

でもそのお陰が、今では結構上手になつたと思つますよ。

お客様さんも、私がドリップしたコーヒーがいいって、指名して下される方もいますしつ。

それはもう、嬉しいですよー。

何だか認められたなつて思つた瞬間でしたー。

私つて、やれば出来る人間なんですよー。

あ、その顔…、信じませんね…?

まあいいですよ…?

「の私が愛と情熱を込めて淹れたコーヒーを飲んだり、証明出来ぬはずですよー。

よしつー。

これで二人分はあると想つますよ。

では、カップに移しよしおー。

(カップに注ぐ音)

「…かは君の…、」かは私の…。」  
では頂きました。

まずは改めて香りを確認してみましょ。」  
わあーっ！

すいーと香ばしさの香りですねー。」

まるでハワイの日射しと、潮風（しおかぜ）を感じるよ。」

お次はやつぱり味ですよね。」

（コーヒーを飲む演技） ずゅー…。

んんー…。

おーーしーーー。

何…、これ…。」

今までこんなコーヒー飲んだ事ないです…。」  
ほら君も、冷めない内に飲んでみて下さい。」

（コーヒーをひと口飲む音）

じゅーと。」

「これで私の実力、認めてもうえましたか？」

うんうん、分かればいいんですね。」

それにして…、マスターが淹れてくれるコーヒーは、いつも美味しいんですか…。」

それとはまた違った美味しいがありますね…。」

これが豆本来の美味しさ…、ところのなんでしょう…。」

独特的の酸味の中にも、フルーツの様に芳醇な香りがあるのが印象的ですね…。」

って、君ー、何を驚いた様な顔をしてるんですー？

私だけコーヒーが好きで、あのカフェでバイアしてるんです。」

コーヒーの味について吟味する事へらこしますよ。」

むうー…、意外って顔をしないでください。」

これでも将来は、本当にコーヒーショップを開きたいなって思ってます。」

君の知らない所で、色々と勉強してるんですからー。」

あー、当然ですが、お店を開いた時のスタッフ、頼も命まれてますからね。」

当たり前じゃないですかー。

君は私の彼氏…、なんですかー。

えへへー♪

ちやーんと、ルームで尋ねてこるんですけどー…。

ですから、君にいや色々と尋ねても困らないと、ですかね♪

(位置5から2に移動しながら)

あー、ルームで、聞きたい事があつたんでした。

(位置2／有声音／小声／セクシーに)

なーに身構へてるんですか…?.

もしかして…、お世話を手伝つたり…、意味にひいて聞いてます…?

ふうふ

やーっぱり。

あー…、でも…、今はもうこう難しこ詰をあぬつもつはあつまわん。

何かつて…、嘘つてですね…?.

(位置2／有声音／小声)

今度のお休みの日、映画を観に行きませんか?

ルーム、今話題になつてるアレです♪

午後版を観た時から気になつていたんですけどー。

ねー、いこですよね?.

やつた♪

では今度、一人ともバイトがお休みの日があるじゃなこですかー…

その時に行きまつねー♪

いこーですか?

やりましたー♪

楽しみが一つ増えましたねー♪

あ、君この時はいつも楽しさですから、強いて嘘つたり…、超超超楽しみ、ですね♪  
えー、恥ずかしく何てないじゃないですかー。

だつて私は…、君の事が大好き…、なんですかー…?.

ふうふ♪

